

全 員 協 議 会 記 録

令 和 5 年 3 月 2 4 日 ②

【開催日】 令和5年3月24日（金）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午後1時36分～午後1時40分

【出席議員】

| | | | |
|----|------|-----|-------|
| 議長 | 高松秀樹 | 副議長 | 中村博行 |
| 議員 | 伊場勇 | 議員 | 大井淳一郎 |
| 議員 | 岡山明 | 議員 | 奥良秀 |
| 議員 | 笹木慶之 | 議員 | 白井健一郎 |
| 議員 | 恒松恵子 | 議員 | 中岡英二 |
| 議員 | 中島好人 | 議員 | 長谷川知司 |
| 議員 | 福田勝政 | 議員 | 藤岡修美 |
| 議員 | 前田浩司 | 議員 | 松尾数則 |
| 議員 | 宮本政志 | 議員 | 森山喜久 |
| 議員 | 矢田松夫 | 議員 | 山田伸幸 |
| 議員 | 吉永美子 | | |

【欠席議員】

| | | | |
|----|------|--|--|
| 議員 | 古豊和恵 | | |
|----|------|--|--|

【事務局出席者】

| | | | |
|---------|-------|--------|------|
| 局長 | 河口修司 | 局次長 | 島津克則 |
| 主査兼議事係長 | 中村潤之介 | 庶務調査書記 | 岡田靖仁 |

【付議事項】

会派の視察報告について（創政会）

午後1時36分 開会

高松秀樹議長 それでは、ただいまより全員協議会を始めます。付議事項は、創政会の会派の視察報告についてでございます。創政会、報告をお願いします。

(伊場勇議員 登壇)

伊場勇議員 それでは、会派創政会の視察報告をいたします。まず1、視察日、視察先、事項について、令和4年11月9日水曜日に東京都大田区、令和4年11月10日木曜日に国土交通省にて視察を行いました。視察委員につきましては、一身上の都合で出席できなかった福田議員を除く、創政会8名で視察に伺いました。報告事項につきましては、東京都大田区議会のICT化の取組について先進地視察を行いました。大田区議会では、平成23年、平成24年に会派代表者会議、幹事長会議等において、議会改革の一環として、ICT化の取組について議題が出され、いろいろな取組がなされております。その中で、①端末の導入については、平成27年11月に導入され、その他いろいろなシステム、アプリを導入されておりました。考察といたしましては、次のページになりますが、研修を行った視察先のICT化の取組は、本市議会デジタル化推進特別委員会でも検討しているICTの先進地事例である。しかも大田区議会では、議会ICT化も転換期を迎えているとし、これまでは各種ICTツールの導入、施行実績の積み重ねをしてきたが、今後はICTツールの効果的な活用、議会改革の推進、区政（区民）への還元を目指しているとのことでありました。山陽小野田市議会としても、ICTツールの効果的な活用を踏まえて、ツールを導入しなければならないと強く感じたところです。続いて、翌日に国土交通省との意見交換を行いました。視察の目的は、地域公共交通ネットワークの再構築についてでございます。研修内容の概要は、①鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に向けて、②山口県内におけるJR路線の状況について、③バスをめぐる最近の情勢についてでございます。考察として、国土交通省は、鉄道事業者と地方自治体が協議を行う上で中立的な立場、相撲でいう行司的な立場ということが確認できました。国土交通省の補助制度もJRは除くこととなっており、JRローカル赤字線の補填は考えられないが、まちづくりを目指す市、地域への支援は可能ということ。そして、バス事業者は最終手段的な位置づけのため、欠損補助をしているという

ことも確認できました。以上のことも踏まえて、今後、小野田線、美祢線についての協議に役立てたいと思っております。以上で報告終わります。

(伊場勇議員 降壇)

高松秀樹議長 ただいまの会派の視察報告について質疑はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり) 以上で、全員協議会を終わります。

午後 1 時 4 0 分 散会
